

令和6年度 児童朝会 (講話72)

令和6年5月13日【なかま 1】  
おはようございます。

前回のお題は、みなさんの好きな鶏肉料理を聞かせてくださいでしたね。ご覧のとおり、唐揚げが一番人気でした。ほぼ同じくらいシールを集めたのがフライドチキンです。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

また、鳥のような翼があっても、人は空を飛ぶことはできないのはなぜか？という問いにもたくさん回答をいただきました。体重が重いから、そういう体になっていないからなど、素敵な答えがたくさんありました。ほぼほぼ正解ですね。

実は過去に何度か人間の体重にみあった大きな鳥の翼をつくったのですが、空を飛ぶことはできませんでした。それは、そのような大きな翼を動かす筋肉が人間にはないのです。もし、翼を動かす筋肉を人間につけるとしたら、このような大量の筋肉が必要です。だから人間は鳥のように空を飛ぶことができないのです。

さて、本日は大阪市のいじめを考える日です。いじめはもちろんいけないことです。しかしなかなかなくなりません。なぜでしょう。

いじめの構造。まずいじめる人、いじめられる人。これが第1構造です。実は、いじめというのはそこだけで起きているのではないのです。それらの周りで、はやし立てたり、笑ったりし

ている第2構造の人。さらにそのまわりには、見て見ぬふりをしたり、助けてと言われているのに無視をする人。第3構造の人です。いじめをとめるためには、第1はもちろん、その周りの第2、第3構造の人たちも、いじめをとがめたり、助けてと言われたら、きちんと話を聞いてあげて助けてあげることが大切です。

いつも一緒にいて、楽しくなる人のことを友だちと言います。よく似ている言葉に「仲間」というものがあります。友だちとの違いは、仲間は同じ目的を持っている人のことを言います。ですので、いまここにいる皆さんは、一緒に勉強をがんばるという目的もっていますので、「仲間」なのです。この仲間の中で、いじめたり、無視したりするのはおかしいですよ。

校長先生は「仲間」という言葉からワンピースという漫画の一コマを思い出します。大切な義兄のエースを失って、自暴自棄になっているルフィにジンベイが「失ったものばかり数えるな。おまえに残っているものはなんじゃ!」「仲間がいるよ!」という感動的なシーンで、仲間の大切さを再確認できるお話です。みなさんも、周りにはいつもこれだけ多くの仲間がいることをよく覚えておいて、いじめのない学校をつくっていきましょう。

今週は、いじめのない学校をつくるために、あなたができることは何ですか？ということをお題にします。よかったら、校長室前のボードに書き込みをお願いします。

今日も最後まで静かに聞いていただきありがとうございました。